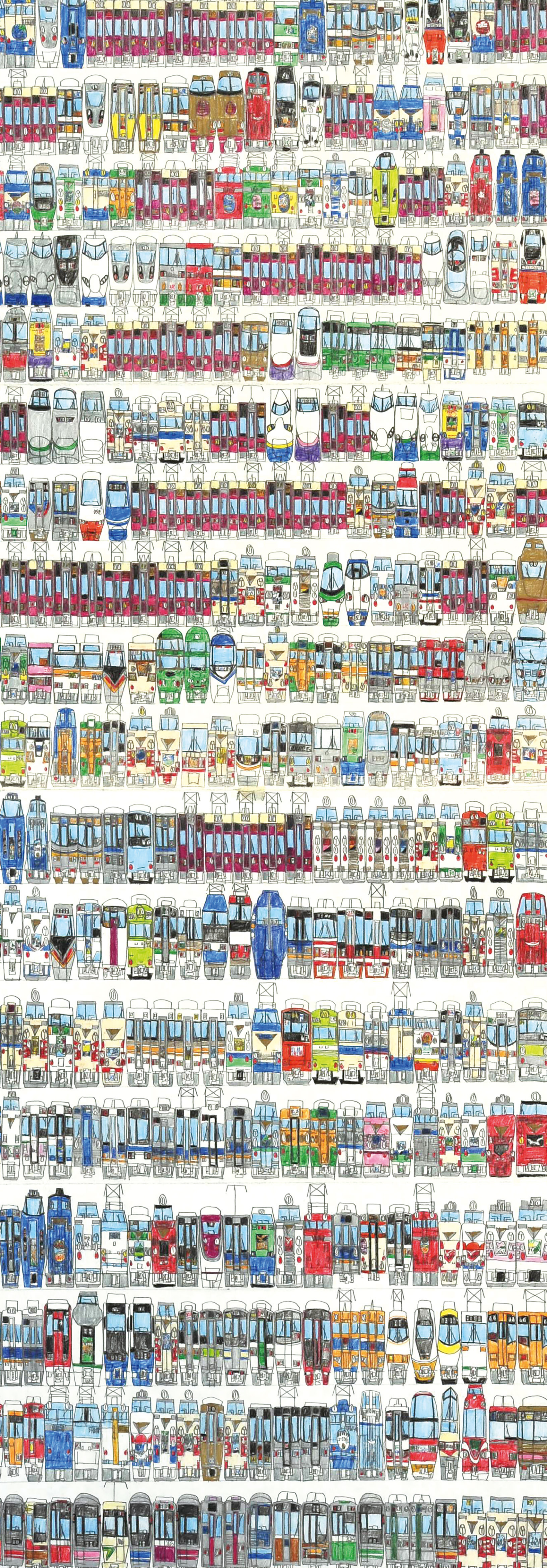


岩見沢 アール・ブリュット 芸術祭 2019

IWAMIZAWA ART BRUT FESTIVAL 2019

2019年11月10日(日)～24日(日)

岩見沢市民会館まなみーる (岩見沢市 9 条西 4 丁目 1-1)

岩見沢市イベントホール赤れんが (岩見沢市有明町南 1-14) 他

入場無料

主催：共生社会の実現に向けた文化芸術プロジェクト実行委員会

共催：北海道新聞社、北海道教育大学岩見沢校

後援：北海道

協力：障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、
北海道アールブリュットネットワーク協議会

アール・ブリュットとは？

フランスの画家ジャン・デュビュッフェにより提唱された、専門教育を受けない作家による既存の芸術とは一線を画す「生(き)の芸術」。

beyond 2020

プログラム

11月17日（日）

会場	時間	内容
大ホール	10:00 ～ 11:00	開会あいさつ・瑞宝太鼓
大ホール	11:00 ～ 11:40	湖南ダンスカンパニー
大ホール	12:30 ～ 14:10	バリアフリー映画「日日是好日」
大ホール	14:10 ～ 15:10	バリアフリー映画トークショー　大森立嗣、鶴田真由、山上徹二郎
大ホール	15:30 ～ 16:30	アール・ブリュットフォーラム Part1・基調講演　パトリック・ギゲール
大ホール	16:30 ～ 17:30	アール・ブリュットフォーラム Part1・パネルディスカッション第 1 部 パトリック・ギゲール、渡邉芳樹、西川賢司、野澤和弘（進行）
大ホール	17:30 ～ 18:30	アール・ブリュットフォーラム Part1・パネルディスカッション第 2 部 田島光浩、小林瑞恵、北村成美、三橋純予（進行）
リハーサル室	13:30 ～ 15:00	ダンスワークショップ　北村成美

11月23日（土）

会場	時間	内容
多目的室	13:00 ～ 15:00	アール・ブリュットフォーラム Part2　横井悠、岩井康頼、卜部奈穂子、石田弘美、大友恵理（進行）
リハーサル室	15:30 ～ 17:00	音楽指導ワークショップ　小原恵美子

11月24日（日）

会場	時間	内容
大ホール	13:30 ～	アール・ブリュットショウケース 2019 in 岩見沢「舞台に上がれ！」

オープニングアクト

2017 ジャパン × ナントプロジェクト出演団体の瑞宝太鼓、湖南ダンスカンパニーによるステージパフォーマンス！

日時：11月17日（日）10:00 ～ 11:40
会場：まなみーる 大ホール

瑞宝太鼓（長崎県）

障がい者長崎打楽団“瑞宝太鼓”は我々社会福祉法人南高愛隣会が掲げる「生かされた人間ではなく自ら生きる人間に」の基本理念を自ら体現する知的障がいがあるメンバーで構成されたプロの和太鼓集団です。平均公演数は年間100本を超え、2001 年の結成以来 「希望し、努力し、感謝して生きる」をテーマに国内外を問わず精力的な演奏活動を行い、現在は法人のシンボリックな存在にまで成長を遂げました。また全国の少年院・刑務所での演奏や学校公演、高齢者施設での太鼓リハビリテーション活動、そして東日本大震災での支援活動を通して数々の社会貢献活動も行ない、人々に “感動と生きる力” を与え続けています。

湖南ダンスカンパニー（滋賀県）

滋賀県の湖南圏域に在住する知的障がいのある人とない人が共に踊り舞台をつくるダンスアーティスト集団。蛍の里（入所施設）にっこり作業所（通所施設）とその近隣の施設に通所している人達と、プロのダンサー、福祉施設の職員で構成される総勢 32 名（障がいのある人は 24 名）が在籍。「糸賀一雄記念賞音楽祭」への出演を目標に2004年活動開始。毎年新作を発表する中で小室等氏をはじめとする日本を代表するミュージシャンとの出会いと共同製作を重ね、近年ではアメニティフォーラムやボーダレス・アートミュージアム NO-MA での公演、ワークショップ、講演、ゲスト出演など、その活動の場を広げています。 2017年10 月「フランス・ナント市と日本の障害者の文化芸術国際交流事業」、2019 年 2 月「ジャポニズム 2018 パリ日本文化会館公演」に招聘され、海外公演を果たしました。

アール・ブリュット展

日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展 in 岩見沢

木々の葉を通して差し込む太陽の光を意味する「木漏れ日」。2017 ジャパン × ナントプロジェクトでは、この「木漏れ日」という日本の言葉が展示会のタイトルとなりました。期間中、フランス国内外から 55,000 人もの人が訪れ、絶大な評価を受けた日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展に出展された作品から、本展示会では 28 作家の作品を展示します。

会期 : 11月10日（日）～ 24日（日）
10:00 ～17:00（17日のみ 10:00 ～ 20:00）
会場 : イベントホール赤れんが
企画構成 : 社会福祉法人愛成会

「北海道のアール・ブリュット - No Art, No Life」展

これまで岩見沢市では「北海道アール・ブリュットフォーラム」などを通じて北海道の作家たちを数多く紹介してきました。今では「あの作品」「この作家」といつのまにか“お馴染み”と言えるような作家たちもたくさん増えて、存在感を発揮するようになりました。それほどに彼らの作品はそれぞれユニークで生き生きと輝いています。今回は全道で活動するアール・ブリュット作家 40 名以上の作品を一堂に集めて紹介します。

会期 : 11月17日（日）～ 24日（日）
会場 : まなみーる（展示室他）
企画構成 : 北海道アールブリュットネットワーク協議会

まちなか展示「岩見沢のアール・ブリュット」

岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019 の開催期間中、中心市街地の店舗等に岩見沢のアール・ブリュット作品を展示し、芸術祭を盛り上げます。

会期 : 11月 10 日（日）～ 24日（日）

2017ジャパン×ナントプロジェクト映像上映 / パネル展

「2017 ジャパン × ナントプロジェクト」のパネル展示や記録映像の上映等を行い、障がいのある人の優れた文化芸術の海外発信、国際交流の軌跡とその魅力に触れていただきます。

会期 : 11月17日（日）～ 24日（日）
会場 : まなみーる多目的室

ギャラリーツアー　11月20日（水）

二会場で開催されるアール・ブリュット展の見どころをスタッフが解説します。

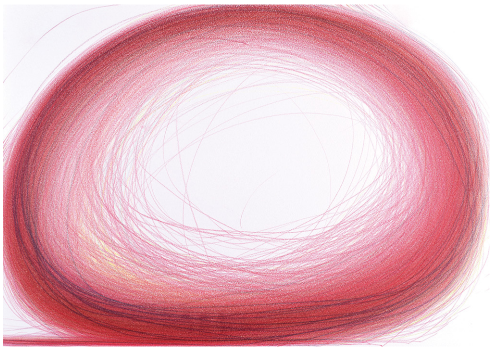
①日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展 in 岩見沢
時間 : 13:00 ～14:00 / 会場 : イベントホール赤れんが
②北海道のアール・ブリュット「No art , No Life」展
時間 : 15:00 ～16:00 / 会場 : まなみーる

同時開催

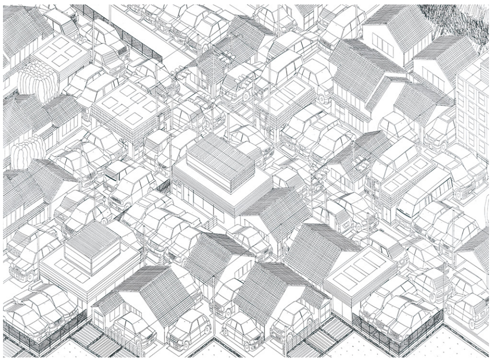
厚生労働省 令和元年度障害者芸術文化活動普及支援事業 北海道・北東北ブロック

アール・ブリュットショウケース2019 in 岩見沢「舞台に上がれ！」

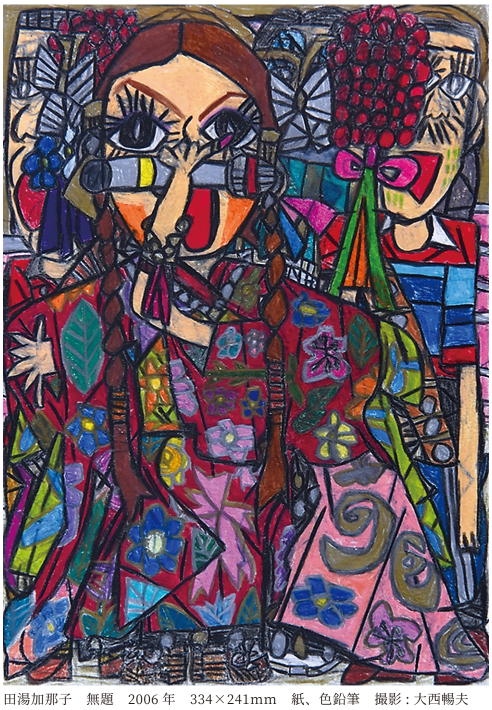
日時 : 2019 年 11 月 24 日（日）　開場13:00　開演13:30
会場 : まなみーる大ホール　主催 : 社会福祉法人ゆうゆう、岩見沢市



稲田萌子　無題　2015 年　362×515mm　紙、色鉛筆、油性ボールペン
撮影 : 大西暢夫



戸舎清志　街と車のある風景　2003 年　420×578mm　紙(カレンダー裏面)、ボールペン　撮影 : 大西暢夫



田湯加那子　無題　2006 年　334×241mm　紙、色鉛筆　撮影 : 大西暢夫

戸來貴規　日記　2000-2006 年　267×190×94mm　紙、鉛筆、紐
撮影 : 大西暢夫

（表紙作品）
本岡秀則　電車　1995 年頃　834×298mm　コピー用紙、鉛筆、色鉛筆、油性ボールペン、のり、セロハンテープ　撮影 : 大西暢夫

アール・ブリュット フォーラム Part 1「日本とフランスで探る共生社会の未来」

フランス国立現代芸術センターリュー・ユニック館長であるパトリック・ギゲール氏を招き、障がいのある人の芸術文化の可能性、共生のまちづくりについて、芸術、福祉、行政等の多彩な分野の専門家とともに考えます。また、日頃から現場で障がいのある人の表現活動に関わっている方々にご登壇いただき、日々の活動がどう社会に広がっていくか考えます。

日時：11月17日（日）15:30～18:30
会場：まなみーる 大ホール

＜基調講演＞

パトリック・ギゲール（フランス国立現代芸術センター リュー・ユニック館長、KOMOREBI 展キュレーター）

＜パネルディスカッション第一部＞

パトリック・ギゲール / 渡邉芳樹（元駐スウェーデン日本国特命全権大使）/ 西川賢司（社会福祉法人グロー法人本部企画事業部文化芸術推進課長）/ 進行: 野澤和弘（一般社団法人スローコミュニケーション代表 / 植草学園大学客員教授）

＜パネルディスカッション第二部＞

田島光浩（瑞宝太鼓ディレクター、社会福祉法人南高愛隣会理事長、精神科医）/ 小林瑞恵（社会福祉法人愛成会副理事長、KOMOREBI 展キュレーター）/ 北村成美（湖南ダンスカンパニーディレクター）/ 進行：三橋純予（北海道教育大学岩見沢校教授）

Patrick Gyger（パトリック・ギゲール）

フランス国立現代美術センター・リュー・ユニック館長、歴史家、作家、キュレーター。1999 年から 2010年にかけ、「ユートピア」をテーマにした人間の文化・芸術をコレクションしている「メゾン・デ・リュール」（空想科学博物館・スイス）の館長を務める。展覧会やイベントの企画、美術評論、研究、出版を幅広く行っている。2011 年より現職。2017 ジャパン × ナントプロジェクトの主催者の一人であり、日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展のキュレーター。

渡邉 芳樹（わたなべ よしき）

元・在スウェーデン日本国特命全権大使。元・社会保険庁長官。1953 年岩見沢市出身。岩見沢東高～東京大学卒。75 年厚生省入省。老人保健医療対策本部事務局を経て、84 年外務省在スウェーデン大使館書記官。87 年大臣官房総務課長補佐として厚生省復帰。大臣官房広報室長、保険局保険課長など歴任。95 年内閣官房内閣審議官、児童家庭局家庭福祉課長、保険局総務課長、大臣官房審議官、年金局長、社会保険庁長官等を経て、2010 年在スウェーデン日本国特命全権大使。13 年から日本生命顧問。日本赤十字社常任理事、社会福祉法人愛成会芸術文化事業担当顧問、そして北海道アールブリュットネットワーク協議会顧問。18 年から福祉フォーラムジャパン会長。19 年からは皇室ゆかりのこどもの国協会理事長を務める。1989 年と 2013 年スウェーデン王国「北極星勲章」受勲。

西川 賢司（にしかわ けんじ）

社会福祉法人グロー法人本部企画事業部文化芸術推進課長。滋賀県出身。2011 年滋賀県社会福祉事業団（現社会福祉法人グロー）入職。企画事業部でボーダレス・アートミュージアムNO-MAの事業、糸賀一雄記念賞音楽祭などを担当する。前職は栗東芸術文化会館さきら事業担当部長。これまで、主に音楽制作や舞台製作に携わるほか、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会事務局として、「2017 ジャパン × ナントプロジェクト」「2018 ジャポン × フランスプロジェクト」「2019 ジャパン × タイプロジェクト」などに携わる。

野澤和弘（のざわ かずひろ）

一般社団法人スローコミュニケーション代表。植草学園大学客員教授。1983 年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局（名古屋）、東京社会部、夕刊編集部長を経て現職。社会部でいじめ、ひきこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などを担当。論説委員を 11年務め、2019 年 10 月退社。主な著書に「障害者のリアル × 東大生のリアル」「条例のある街」（ぶどう社）、「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」（Sプランニング）、「わかりやすさの本質」（NHK 出版）

アール・ブリュットフォーラム Part2
「アール・ブリュットを地域に広げる処方箋―美術館・教育・福祉事業所の実践から」

地域の中で多様な人々が暮らす社会を目指すとき、美術においてはどんな可能性があるのでしょうか。日本において障がいのある人の芸術作品を扱う美術館としてリーダー的な存在であるボーダレス・アートミュージアム NO-MA の取組みを紹介するとともに、地域の中で作品の発表・発信に取り組んでいる方々に集まっていただき、地域社会で私たちが果たす役割りについて議論します。

日時：11月23日（土）13:00～15:00
会場：まなみーる 多目的室

横井悠（ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 学芸員）/ 岩井康賴（東北女子大学教授）/ 卜部奈穂子（合同会社ペン具）/ 石田弘美（社会福祉法人クピド・フェア）/ 進行：大友恵理（社会福祉法人ゆうゆう）

バリアフリー映画「日日是好日」

日時：11月17日（日）映画上映 12:30 トークショー 14:10
会場：まなみーる 大ホール

バリアフリー映画とは、聴覚障がい者用の字幕と視覚障がい者用の音声ガイドの両方をつけた映画のことです。岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019 では、バリアフリー映画「日日是好日」を上映します。上映後は、大森立嗣監督、出演女優の鶴田真由さん、映画プロデューサーの山上徹二郎さんによるトークショーを行います。

『日日是好日』
黒木華 樹木希林 鶴田真由 多部未華子
監督・脚本：大森立嗣
原作：森下典子『日日是好日「お茶」が教えてくれた 15 のしあわせ』（新潮文庫刊）
©2018「日日是好日」製作委員会

大森 立嗣（おおもり たつし）
1970 年、東京都出身。2005 年「ゲルマニウムの夜」で監督デビュー。第 59 回ロカルノ国際映画祭、第 18 回東京国際映画祭など多くの映画祭に正式出品され、国内外で高い評価を受ける。二作目となる「ケンタとジュンとカヨちゃんの国」(10) では第 60 回ベルリン国際映画祭フォーラム部門正式招待作品に選ばれ、2010 年度の日本映画監督協会新人賞を受賞。「さよなら渓谷」(13) では第 35 回モスクワ国際映画祭コンペティション部門にて日本映画として 48 年ぶりとなる審査員特別賞を受賞する。また、「さよなら渓谷」「ぼっちゃん」(13) で第 56 回ブルーリボン賞監督賞を受賞。「日日是好日」(18) では、第 43 回報知映画賞監督賞を受賞する。監督作として「まほろ駅前多田便利軒」(11)、「まほろ駅前狂騒曲」(14)、「セトウツミ」(16)、「光」(17)、「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った。」(19) の他、最新作に「タロウのバカ」がある。

鶴田 真由（つるた まゆ）
1988 年「あぶない少年Ⅱ」で女優デビューし、以後ドラマ、映画、舞台、CM と幅広く活動。代表作には、ドラマ「妹よ」「君と出逢ってから」「徳川慶喜」「お仕事です！」「サトラレ」、映画「梟の城」「半落ち」「カーテンコール」などがある。1996 年には「きけ、わだつみの声」で日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。近年はドラマ「酔いどれ小籐次」「株価暴落」「犯罪症候群」、映画「64-ロクヨン」「DESTINY 鎌倉ものがたり」「海を駆ける」など話題作に出演。大森立嗣監督作品には、「さよなら渓谷」「日日是好日」の 2 作品に出演。旅番組、ドキュメンタリー番組への出演も多く、番組出演がきっかけとなり、2008 年に第 4 回アフリカ開発会議（TICAD Ⅳ）の親善大使に就任。

ワークショップ

＜ダンスワークショップ＞

障がいのあるパフォーマーと共に舞台をつくる湖南ダンスカンパニーの「しげやん」こと北村成美氏によるダンスワークショップ。ダンスが初めてでも大丈夫。障がいのある人もない人も子どもも高齢者も、みんなで身体を動かして、自分なりのダンスを楽しもう。

日時：11月17日（日）13:30～15:00
会場：まなみーるリハーサル室 ※定員 20 名（要事前申込）
講師：湖南ダンスカンパニーディレクター 北村成美

北村 成美（きたむら しげみ）
6 歳よりバレエを始め、英国ラバンセンターにて振付を学ぶ。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに国内外で活動。市民参加による大型コミュニティダンス作品を数多く発表している。

＜音楽指導ワークショップ＞

アフリカの打楽器「ジャンベ」を使ってリズムを感じる音楽ワークショップ。簡単なアクション「叩いてみる」から始めてみよう。

日時：11月23日（土）15:30～16:30
会場：まなみーるリハーサル室 ※定員 20 名（要事前申込）
講師：社会福祉法人帯広福祉協会愛灯学園 小原恵美子

小原 恵美子（おばら えみこ）
2009年ジャンベに出会い、アフリカはギニアの曲を好み、十勝のアフリカンバンドに加入する。帯広福祉協会「愛灯学園」に 2011 年より勤務。勤務後より、法人内にて少しずつジャンベ活動開始。2013 年「ハランベー」立ち上げ。地域のお祭りや、帯広美術館、札幌「みんなあーと」にて演奏する。自身の他の活動には、「十勝アフリカン」というサークルの代表を務め、十勝のフェス等に出演している。

ロビーコンサート

岩見沢市民会館まなみーるのロビーにて、音楽で皆様をお迎えします。
11月17日（日） 1回目：9:35～9:50 2回目：12:30～13:00

＜演奏曲目＞

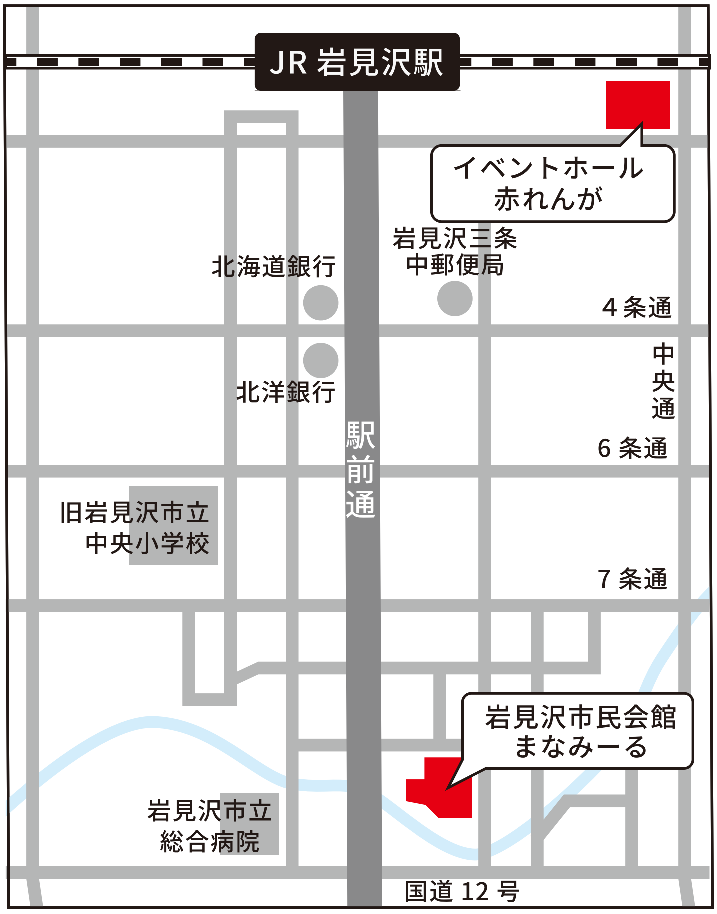
主よ人の望みの喜びよ（バッハ作曲）/ タイスの瞑想（マスネ作曲）/ 情熱大陸（葉加瀬太郎作曲）/ 他

林 ひかる
（はやし ひかる）
（Vn）

按田 佳央理
（あんた かおり）
（Fl）

川辺 美穂
（かわべ みほ）
（Pf）

会場案内



岩見沢市へのアクセス

自動車の場合

道央自動車道（岩見沢インターチェンジ下車）を利用した場合の所要時間

・札幌から 32 キロメートル（約 30 分）

・新千歳空港から 67 キロメートル（約 60 分）

※岩見沢市民会館まなみーる：無料駐車場あり

※イベントホール赤れんが：コミュニティ東駐車場をご利用の方は 1 時間無料

JR利用の場合

特急列車を利用した場合（新千歳空港ー札幌間は区間快速）の所要時間

・札幌から約 25 分

・新千歳空港から約 65 分

問合せ先・事務局

共生社会の実現に向けた文化芸術プロジェクト実行委員会（山田・近藤）

〒068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1-1 岩見沢市健康福祉部福祉課内

TEL 0126-23-4111（内線 258）FAX 0126-24-0294

Email: fukushi@i-hamanasu.jp

参加申込書

参加希望 （チェック印）	**11月17日**（日） ☐ オープニングアクト（瑞宝太鼓・湖南ダンスカンパニー） ☐ バリアフリー映画「日日是好日」・トークショー ☐ アール・ブリュットフォーラム Part1 ☐ 北村成美ダンスワークショップ　※定員 20 名	**11月23日**（土） ☐ アール・ブリュットフォーラム Part2 ☐ 小原恵美子音楽指導ワークショップ　※定員 20 名

＜申込先＞

電話 **0126-23-4111**（内線 258）　FAX **0126-24-0294**（送付状不要）

E-mail **fukushi@i-hamanasu.jp**

申込締切　11月8日（金）

市HP（申込フォーム）

お名前	ご所属
ご住所　〒	
TEL	E-mail

会場準備等の参考とするため事前の参加申し込みにご協力ください。なお、ダンスワークショップ・音楽指導ワークショップは、定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。